

# 近年の都道府県立図書館の潮流 ー背景と現況

岡本真

新県立中央図書館整備の検討に関する有識者会議委員

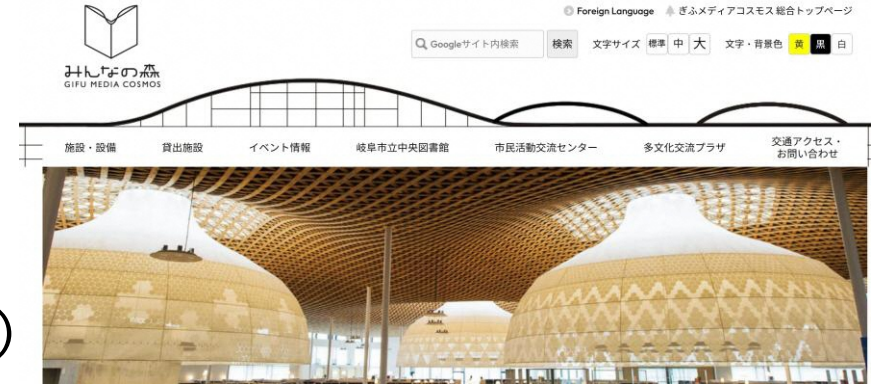
アカデミック・リソース・ガイド株式会社 (arg)

代表取締役／プロデューサー

# 背景：最近の図書館整備動向

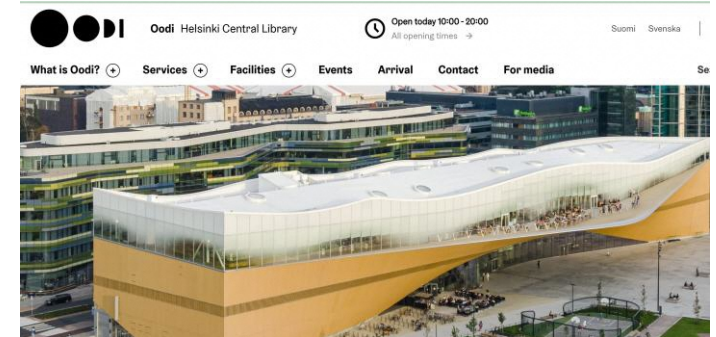
## • 国内の図書館整備事例

- 武蔵野プレイス（2011年開館）
- オガールプラザ・紫波町図書館（2012年開館）
- 武雄市図書館（2013年リニューアル）
- みんなの森 ぎふメディアコスモス（2015年開館）
- 大和市文化創造拠点シリウス（2016年開館）
- 箕面市立船場図書館・大阪大学附属図書館外国学図書館（2021年開館）
- 大熊町社会教育複合施設ととと（2028年開館予定）



## • 国外の図書館整備事例

- デンマーク：Dokki（2015年開館）
- 韓国：ピョルマダン（星の庭）図書館（2017年開館）
- フィンランド：Oodi（2018年開館）



位置づけの変化：賑わい創出の中核施設

# 背景：都道府県立図書館の特性

- 都道府県は、都道府県立図書館の拡充に努め、住民に対して適切な図書館サービスを行うとともに、図書館未設置の町村が多く存在することも踏まえ、当該都道府県内の図書館サービスの全体的な進展を図る観点に立って、市町村に対して市町村立図書館の設置及び運営に関する必要な指導・助言等を行うものとする。
- 都道府県立図書館は、前項に規定する事項に努めるほか、住民の需要を広域的かつ総合的に把握して、資料及び情報を体系的に収集、整理、保存及び提供すること等を通じて、市町村立図書館に対する円滑な図書館運営の確保のための援助に努めるとともに、当該都道府県内の図書館間の連絡調整等の推進に努めるものとする。
  - 図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/01\\_1/08052911/1282451.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/01_1/08052911/1282451.htm)

都道府県の役割は、基礎自治体（市町村）との伴走

# 背景：各都道府県の歴史的経緯

- 都道府県立図書館の2類型
  1. 県が先行整備／基礎自治体が後発整備
  2. 基礎自治体が先行整備／県が後発整備
- 都道府県立図書館の担う役割
  - ・ アメリカの州立図書館を巡る議論
  - ・ 上記議論を発展させた日本での議論
  - ・ 都道府県立図書館サミットの開催
    - ・ 2016/2019/2022/2025/2028?



・ 収集者/Collector 広範かつ専門的なコレクション構築を行う  
英文庫、久能文庫から外国語資料まで、児童書全点収集による80万点のコレクション

・ 評価者/Evaluator 情報を収集・集約・公開し、図書館サービスを分析・評価する  
『静岡の図書館』刊行、アンケートでの県・市町立図書館の使い分け意識調査の実施

・ 教育者/Educator 図書館関係者への継続教育の機会を提供する  
四半世紀近くに及び、日本一の集客を誇る静岡県図書館大会の開催を協力

都道府県立図書館の担う役割

役割	定義
1. 提供者/Serviceur	都道府県内の市民に図書館サービスを提供する
2. 提唱者/Advocator	図書館サービスの重要性を訴え、社会に働きかける
3. 助言者/Adviser	幅広い問題について図書館に助言を行う
4. 供給者/Provider	基礎自治体の図書館・類似施設、学校、団体にサービスを提供する
5. 収集者/Collector	広範かつ専門的なコレクション構築を行う
6. 評価者/Evaluator	情報を収集・集約・公開し、図書館サービスを分析・評価する
7. 先導者/Leader	先進的なプログラムを開発・提供し、図書館サービスの改善を促す
8. 教育者/Educator	図書館関係者への継続教育の機会を提供する
9. 革新者/Innovator	先進的サービスを開発・実践する
10. 仲介者/Coordinator	都道府県と市町村の間、市町村の間関係を整理し協力を促す
11. 配給者/Distributor	自治体間での資料やサービスの提供授受関係を構築・運営する
12. 研究者/Researcher	新たなサービスや海外国内の先進事例を調査研究する
13. 集積者/Aggregator	MLA連携を中心に図書館を軸とした連携・連動を行う
14. 支援者/Supporter	基礎自治体の図書館整備や非常時下における図書館支援を行う

静岡県歴史的役割は、収集者/評価者/教育者

# 現況：最近の動向（整備進行中の事例）\*=岡本関与事例

1. \*東京都：新中央図書館の整備が進行中
  - ・「創造・交流図書館」として、別途進む「智の創造拠点」と一体整備の方針
2. 千葉県：新千葉県立図書館・県文書館複合施設の整備が進行中
  - ・図書館、文書館を一体整備
3. 栃木県：栃木県「文化と知」の創造拠点整備が進行中
  - ・図書館、美術館、文書館を一体整備の方針
4. \*群馬県：群馬県立図書館の在り方検討報告書を策定（2023年度）
  - ・文書館との一体整備を検討
5. \*埼玉県：新埼玉県立図書館基本計画を策定（2026年度）
  - ・熊谷市に設置する北部地域振興交流拠点と一体整備の方針

比較的明白な現実＝「民間活力」方針の難易度の高さ

# <参考>近年の動向（整備完了済み）

\*=岡本関与事例

1. オーテピア高知図書館（2018年）
  - ・初の県・市一体図書館／高知県の自治体特性を的確に分析
2. \*沖縄県立図書館（2018年）
  - ・モノレール旭橋駅周辺地区再開発の一環で実現
3. \*長崎県立長崎図書館ミライon図書館（2019年）
  - ・2例目の県・市一体図書館
4. \*石川県立図書館（2022年）
  - ・「基礎自治体が先行整備／県が後発整備」での取組
5. \*神奈川県立図書館新棟（2022年）
  - ・「基礎自治体が先行整備／県が後発整備」での取組